

**節電目標； ご利用者の健康に留意しながら、
前期実績の15%削減を目指します。**

◇熱中症予防のためのご利用者への配慮

1. ご利用者に涼しい衣服を選んでいただくよう促します。
2. ご利用者が汗をかいているようだったら、こまめに更衣をします。
3. ご利用者の水分摂取をこまめにします(目標:食事以外の水分摂取1.5L)。
4. ご希望があった場合や状況によりアイスノン(人数分確保)等を使用させていただきます。
5. 涼感を得られる配慮をします(冷や汁やかき氷等のユニット調理)。

◇節電行動

日常気をつけること

1. 日中の不要な照明は OFF にします。
2. 利用者が不在の居室のエアコンおよび照明を OFF にします。
3. 電力のピーク時間帯は出来るだけ、体調のよいご利用者はリビングに集まっていただき、居室のエアコンを OFF にします(空調エリアを限定)。
4. 扇風機を併用し、エアコンを適切な設定温度にします。
5. 朝夕の涼風が得られる時間帯は空調を OFF にして外気を取り入れます。
6. テレビを見ていない時は待機電源も OFF にします。
7. ユニットの入り口を閉めておき、冷気の流出を防ぎます。
8. ベランダ出口の開閉はすばやく行います。

その他気をつけること

1. エアコンのフィルターを定期的に清掃します。
2. 居室の照明カバーが汚れていたら清掃します。
3. トイレの便座、水の設定温度を中・低温以下に設定します。
4. 日差しの強い窓はシェードや簾等で遮光します。
5. ベランダで緑を育てます。グリーンウォールの設置等。
6. 洗濯物はまとめ洗いをし、出来るだけ乾燥機に頼らず外干しします。
7. 入力用パソコンに自動電源 OFF モードを設定し、使用していない時間は消します。

◇社会福祉施設の節電行動計画に沿った実行状況

基本アクション		実行
照明	事務室の照明を半分程度にする。	☑
	居室以外のエリアの照明を間引きする。	☑
	使用していないエリアの消灯を徹底する。	☑
空調	使用していないエリアの空調を停止する。	☑
	居室、廊下、事務室等エリアごとに適切な温度設定を行う。	☑
	日射を遮るために、ブラインド、カーテン、遮熱フィルム等を活用する。	☑
OA 機器	OA 機器の管理を徹底する。	☑
	必要がない場合は窓や出入り口の開け放しをしない。	☑
メンテナンスや日々の節電努力		実行
照明	照明機器の定期清掃を行う。	☐
	従来型蛍光灯を LED 照明にする。	☐
	夜間の照明管理の徹底をする。	☑
	可能な限り天井照明を消灯し、スポット照明を利用する。	☑
空調	フィルターの定期清掃の実施する(2週間に1度程度が目安)。	☑
	各種出入り口、搬入口の扉等を必ず閉め、冷気流出を防止する。	☑
	給湯循環ポンプの流量を確認し、削減を徹底する。	なし
	調理器具、冷蔵庫の設定温度が必要な温度に対して、高すぎたり低すぎたりしないように確認する。	☑
	日中の電力消費のピーク時間帯は、居住エリアを限定して空調負荷を集中させる。	☑
その他	窓側にゴーヤ、ヘチマ、アサガオなどのグリーンカーテンを作る。	☑
	窓のブラインド、カーテンの開閉管理を徹底する。	☑
	水遊びなどの涼しくなる遊びを取り入れる。	☑
	自動販売機の管理者に冷却停止時間の延長等の協力を求める。	☑
	エレベーターが複数台ある場合は、日中は一部停止する。	一台
	待機電力を削減する。	☑
	消費電力の大きい電気製品は平日の日中を避けて使う。	☑
	昼食・夕食の調理時間の柔軟化を検討する。	☐
クールビズ対策の徹底。	☑	
職員および利用者への節電の啓発		実行
節電啓発	節電リーダーを選出し、具体的な取組を行う。	☑
	朝礼時に毎回節電のアナウンスをして意識付けを行う。	☑
	施設全体の節電目標と具体策について、職員全体に周知徹底し実施する。	☑
	管理部門の節電対策(デマンドコントロール)の設置(機器手配入荷待)。	☑
	ピーク期間(7-9月平日9時~20時には、一斉放送でより一層の節電を呼び掛ける。	☑